

【分野名：機械、土木、建築、その他工学】

大 学 名	東京工業大学
拠点のプログラム名称	都市地震工学の展開と体系化
中核となる専攻等名	総合理工学研究科人間環境システム専攻
拠点リーダー氏名	大町 達夫
<p>《拠点形成の概要》</p> <p>1995年の阪神淡路大震災以降、社会の防災力向上に向けた種々の提言や施策がなされてきたが、残された課題も多い。現代都市を、モノ（都市施設）、ヒト（市民）、社会（都市システム）の3要素に分けてみると、各要素が、老朽化、高齢化、複雑化などの問題点を内蔵しており、ひとたび大地震に直撃されると、未曾有の大災害や世界的波及が危惧される。そこで、先端的技術で防災都市づくりをめざす都市防災先端技術、安全で快適な都市への再生をはかる都市再生防災技術、及び両者の推進戦略を構築する都市防災技術戦略、という3つの研究課題を設定した。従来の地震工学ではこれら3要素のうち、モノの耐震性に主力が注がれてきたが、都市全体の総合防災力を高めるのが、我々の提唱する「都市地震工学」である。</p> <p>上述の研究を強力かつ効率的に推進するため、「都市地震工学センター」を設置し、国際共同研究やシンポジウム開催、海外研究者の招聘等の活動拠点とする。また教育面では、世界をリードする防災専門家の輩出を基本方針とし、アカデミックコースと実践コースからなる博士課程特別コースを新設する。本コースの学生や若手研究者には、短期英語力訓練、外国機関での研修、RA・TA・ポスドクの採用、国際会議への派遣、提案型競争的研究費の配分など、多彩な支援が提供される。これらの教育研究活動を通じ数年間で、体系化された「都市地震工学」に関する専門書を刊行するほか、博士課程特別コースを定着化した新専攻の設置も視野に入れて、国際的COEとしての地歩を固める。</p>	